

JVC

B5A-2329-20

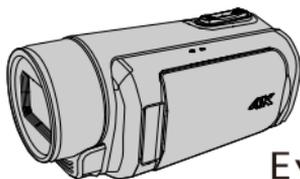
JP

ビデオカメラ

型名 **GZ-RY980**

基本取扱説明書

保証書付き

**4K**
EverioR

お買い上げありがとうございます。
ご使用前に、「安全上のご注意」(p. 2) および「使用上のご注意」(p. 34) を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。



詳しい取扱方法は「Web ユーザーガイド」をご覧ください

■ <http://manual3.jvckenwood.com/cam/pc/c8c/gz-ry980jp/>

スマートユーザーガイド

外出先などからは、スマートフォンで取扱方法をご覧になれます。
(Android 端末、iPhone に標準搭載のブラウザに対応しています)

■ <http://manual3.jvckenwood.com/mobile/jp/>ユーザー登録
について

製品のサポート情報、ソフトウェアのアップデート情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。ぜひご登録ください。

<http://www3.jvckenwood.com/reg/>

準備する

撮影する

再生する

保存する

その他

安全上のご注意

ご使用になる方やほかの人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。

絵表示の説明

注意、警告が必要なこと  一般的注意  感電注意	実行して欲しいこと  一般的指示
禁止されていること  禁止  分解禁止  めれ手禁止	

万一異常が発生したときは

- 煙が出ている、異臭がする
- 内部に水や物などが入った
- 落下などにより破損した
- 電源コードが傷んだ



液晶画面を閉じて本機の電源を切る
電源プラグをコンセントから抜く
そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

販売店に修理を依頼してください。
お客様による点検、整備、修理は危険です。

⚠ 危険

「死亡、または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される」内容を示しています。



次のような誤った取り扱いはしない

禁止

- 分解、加工、加熱および火中に入れる
 - 高温（60℃以上）になる場所に置く
 - 故意に落下させたり、過度な衝撃を与える
 - 誤った使いかたをすると、発熱、発火、破裂などでけがや火災の原因となります。
 - 幼児の手の届くところには置かないでください。
 - カメラを長期間使わないときは…
- ① 30%程度充電された状態（)で保存してください。
 - ② 半年に1度程度は、満充電→使い切りの操作をし、30%程度充電された状態（)で保存してください。



警告

「死亡、または重傷を負うことが想定される」内容を示しています。



内部に物を入れない

- SDカードスロットなどから内部に物が入ると、火災や感電、故障の原因になります。



レンズを直射日光などに向けない

- 集光により、内部部品が破損、過熱し、火事や故障の原因になります。



乗り物を運転中に使用しない

- 交通事故の原因になります。



分解・改造をしない

- 火災や感電の原因になります。



付属のACアダプター以外は使用しない

- 火災や感電、故障の原因になります。



付属のACアダプターを他の機器に使用しない

- 火災や感電、故障の原因になります。



付属の電源コード以外は使用しない

- 火災や感電、故障の原因になります。



付属の電源コードを他の機器に使用しない

- 火災や感電、故障の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

- ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。



電源プラグは抜き差ししやすいコンセントに差し込む

- 本機に異常が発生したときに、ただちに電源プラグが抜けるようにしてください。



電源コードを傷つけない

- 傷んだまま使用すると、火災や感電の原因になります。



禁止

コンセントやACアダプター(電源/DCプラグ)に、ほこりや金属を付着させない

・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

・感電の原因になります。



感電注意

雷がなったら、電源プラグには触らない

・感電の原因になります。



一般的指示

ACアダプターや機器を接続するときは、電源を切る

・電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因になります。



一般的注意

本機の付属品、包装などを小さなお子様の手の届くところに置かない

・誤飲や窒息のおそれがあります。



注意

「人が障害を負ったり、物的損害が想定される」内容を示しています。



一般的指示

5年に1度は内部の点検を販売店に依頼する

・湿気の多くなる梅雨期のまえが効果的です。

・水中で使用する場合は、1年に1回の防水性能点検をおすすめします(有料)。詳しくは当社サービス窓口にご相談ください。(p. 39)



一般的指示

病院内や飛行機内での使用は、病院、航空会社の指示に従う

・本機の電磁波が計器類に影響するおそれがあります。



一般的指示

グリップベルトがゆるんだまま使用しない

・落下によるけがや故障の原因になります。また、お子様は大人と一緒にお使いください。



一般的指示

三脚を確実に取り付ける

・落下などによるけがや故障を防ぐため、お使いの三脚の説明書をご覧ください。しっかりと取り付けてください。



一般的指示

移動するときは電源プラグや接続コード類をはずす

・コードを傷つけると、火災や感電の原因になります。



一般的指示

使用しないときやお手入れをするときには、電源プラグをはずす

・電源が「切」でも機器に電気が流れています。電源プラグをはずしてください。感電の原因になります。



一般的指示

長時間温度の高い場所を持たない

・低温やけどになるおそれがあります。
・長時間の撮影には三脚をお使いください。



禁止

熱源の近くや可燃性・腐食性のガスのある場所で使わない
・火災や故障の原因になります。

本機の防水/防塵/耐衝撃/耐低温性能について

本機は次の4つの耐性を備えています。

防水性能：水深 5m/1 時間以内、JIS 防水保護等級 8 級 (IPX8) 相当および JIS 防水保護等級 6 級 (IPX6) 相当
防塵性能：JIS 防塵保護等級 5 級 (IP5X) 相当

耐衝撃性能：MIL-STD-810F Method 516.5 Shock 準拠

(1.5m の高さから液晶モニター一面を内側にして閉じた状態で、3cm 厚の合板上への落下させる社内試験をクリア)

耐低温性能：-10℃～40℃の温度範囲で使用可能

※上記はいずれも当社試験基準によるものです。

※上記範囲内での使用における、無破損・無故障を保証するものではありません。とくに、落下等の衝撃による表面のキズやへこみ、その他の外観上の変化は保証の対象外です。また、落下や他のものにぶつけるなどの衝撃を与えた場合、防水性能は保証しません。

※-10℃～0℃では、一時的に内蔵バッテリーの性能(撮影時間/使用時間)が低下します。

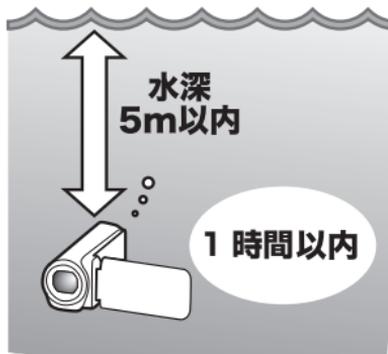
水中で使用するときのご注意

水中や水のかかる場所で使用するとき
は、以下の点にご注意ください。

端子カバーが確実に閉じていることを
確認してください。

- 「端子カバーを開ける」(p.11)をご覧ください。
- 端子カバーや防水パッキンが破損していないこと、異物(髪の毛、糸くず、砂、ほこりなど)が付着していないことを確認してください。
- カバー等に破損がある場合は水中での使用をとり止め、販売店または当社サービス窓口にご相談ください。(p.39)

- ・水深5m以内、1時間以内でお使いください。



- ・水中や水辺での使用中、または手に水滴や砂等がついた状態でカバーの開閉や、SDカード、ケーブル類の抜き差しを行わないでください。
- ・浸水や故障の原因になります。
- ・急流や滝、水への飛び込みなどの高圧や振動をカメラに与えないでください。
- ・カメラを落下させたり、その他衝撃を与えたりした場合、防水性能の保証はしかねます。衝撃を与えてしまったら当社サービス窓口にお問い合わせください。(p.39)
- ・水中での撮影時は、本機内部の音(ズーム音など)が入りやすくなりますが故障ではありません。

- ・温泉や40℃以上のお湯につけないでください。防水性能の劣化につながります。
- ・日焼け止めやサンオイルのついた手でさわらないでください。表面が変色したり、素材が変質したりすることがあります。
- ・水中で本機は沈むことがあります。水中でカメラを紛失しないよう、グリップベルトをしっかり締めてご使用ください。
- ・付属品は防水ではありません。

水中で使用の際は、「画面ロック」してお使いください

画面ロックは、タッチパネル操作を無効にし、水中での誤動作を防ぎます。

- ・[MENU]から、[システム]→[画面ロック]の順にタッチします。



- ・画面に🔒ボタンが表示されます。
- ・画面ロック中もSTART/STOP(撮影)ボタンおよびズームレバーは操作できます。
- ・画面ロックを解除するには、画面上の🔒ボタンをタッチしてください。
- ・水中撮影では「液晶クロード撮影」(p.28)を「入」にすることをおすすめします。

レンズ内側のくもりについて

防水機能付モデルは、気密性が高くなっており、温度が上がると、内部の湿度によりレンズ内側が結露することがあります。撮影時はなるべく直射日光を避けて、充電は湿度の低い環境で行なってください。レンズの内側がくもったときは端子カバーを開けて、液晶モニターを閉じ、しばらくそのままにしてください。

使用後のお手入れ

水中やホコリの多い場所で使用した後は、ただちにカメラをきれいな水ですすぎ、完全に乾かしてください。

1. 端子カバーが閉じていることを確認する
2. きれいな水ですすぐ
カメラが完全に浸かる程度の水を入れた容器にカメラを浸し、やさしくすすいでください。



- ・カメラを海中や海辺で使用した後は、真水に10分間程度浸して塩分を取り除いたのち、新しく入れかえた水ですすいでください。
- ・液晶画面を開閉したり、ボタンやズーム操作を行ったりして、隙間に入っている砂やごみ等を取り除いてください。

3. 乾燥させる

乾いた柔らかい布で完全にふきとり、直射日光の当たらない換気のよい場所で乾燥させてください。

- ・液晶モニターを閉じた状態でレンズを下向きにして、約10分間静置してください。(マイクおよび液晶部分の水分が抜けやすくなります。)
- その後は本体を乾いた布の上に通常の状態置いてください。
- 完全に水気がなくなってから、端子カバーを開けてください。
- ・カバーの裏側に異物や水滴がある場合は完全に拭き取ってください。

※カメラを塩水の中に浸したままにしたり、塩水の水滴がついたままにしたりすると、腐食や変色、防水性能の低下などが発生する可能性があります。

※カメラに砂が付着したまま拭いたり乾燥させたりすると、傷がつく可能性があります。

※薬品や石鹼、中性洗剤、アルコールなどを使っての洗浄は行わないでください。

※ヘアドライヤーやその他の熱源で乾燥させないでください。変形や防水性能が損なわれるおそれがあります。

低温で使用するときのご注意

- ・温度が -10°C ~ 0°C ではバッテリー性能が一時的に低下し、撮影可能時間が短くなります。
- ・温度が 10°C 以下の環境では充電を行うことはできません。
- ・カメラが冷えた状態で電源を入れると液晶モニターの性能が低下し、一時的に画面が暗くなったり、残像が残ったりするなどの問題が発生する場合があります。
- ・気温が氷点下になる環境でカメラに雪や水滴を付けたままにすると、ボタンやスピーカー、マイクなどの隙間に氷が付着し、ボタン操作がしにくくなったり、音量が下がったりする場合があります。
- ・低温下で露出している金属部分に直接接触すると、皮膚が貼りついたり凍傷などのけがの原因となります。素手では直接接触ないようにしてください。

その他のご注意

- ・寒冷地での低温下や、 40°C 以上の高温(太陽光下や炎天下の車内、暖房機の近くなど)に長時間放置しないでください。防水性能が劣化します。
- ・誤った取り扱いで故障した場合は、保証対象外となります。
- ・内部への浸水等によってデータが損失した場合、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- ・防水性能を保つために、1年に1回の防水性能点検をおすすめします。当社のサービス窓口にご相談ください。(p.39) (有料)
- ・ご使用前にWebユーザーガイドを必ずお読みください。

もくじ

はじめに

安全上のご注意	2
付属品を確かめる	6
本機の特長	7
各部のなまえとはたらき	8
液晶モニター上のボタンのなまえとはたらき	9
タッチパネルの使いかた	10
端子カバー(SD カードカバー)を開ける	11
グリップベルトを調節する	11

準備する

充電する	12
初期設定をおこなう	13
SD カードを準備する	14

撮影する

動画を撮る	17
-------	----

静止画を撮る	18
--------	----

再生する

本機で映像を見る/削除する	19
テレビで映像を見る	20

保存する

保存のしかた	21
パソコンに保存する	22
CyberLink PowerDirector を使う	23
ブルーレイレコーダーについてダビングする	24

その他

Wi-Fi 機能を使う	25
メニュー操作のしかた	26
困ったときは	30
正常に動作しないときは	32
使用上のご注意	34
仕様	36
保証とアフターサービス	39

付属品を確かめる

AC アダプター
UNI318-0530※1



電源コード



HDMI ミニケーブル



レンズキャップ※2



基本取扱説明書
(本書)



- アプリケーションソフトは、サイバーリンク社のサイトからダウンロードできます。(p. 23)
- SD カードは別売です。本機で使える SD カードの種類については、p. 14 をご覧ください。

※1 AC アダプターは 100V～240V の電圧に対応しています。海外で AC アダプターを使うときは、訪問国や地域に合った市販の変換プラグをご用意ください。

※2 ビデオカメラを使わないときや持ち運びするときは、レンズキャップを取り付けてください。

本機の特長

■ 4K 高精細映像をはじめとした、多彩な記録モード

スローモーションや微速度撮影(タイムラプス撮影)といったユニークな動画を簡単に撮影できます。また、撮影後すぐにカメラで再生して楽しめます。

本機で記録できる動画・静止画		フォーマット	解像度	フレームレート	ビットレート	
動画	通常撮影	4K	Quick-Time	3840 x 2160	30p, 24p	70Mbps
		フル HD	AVCHD	1920 x 1080	60p 60i	28Mbps 24, 18Mbps
	スローモーション (高速撮影)	フル HD	Quick-Time	1920 x 1080	120/30p, 120/60p, 60/30p	16Mbps
	微速度撮影 (タイムラプス撮影)	4K	Quick-Time	3840 x 2160	30p, 24p	70Mbps
		フル HD	AVCHD	1920 x 1080	60p 60i	28Mbps 24, 18Mbps
	静止画		JPEG	3840 x 2160	-	-
1920 x 1080				-	-	

■ QUAD PROOF

4つの保護性能[防水・防塵・耐衝撃・耐低温]でアウトドアスポーツや非日常体験に最適

■ 長時間内蔵バッテリー

4K モードで約 4 時間 20 分の連続撮影
フル HD モードで約 5 時間 20 分の連続撮影
モバイルバッテリーからの充電に対応(別売)

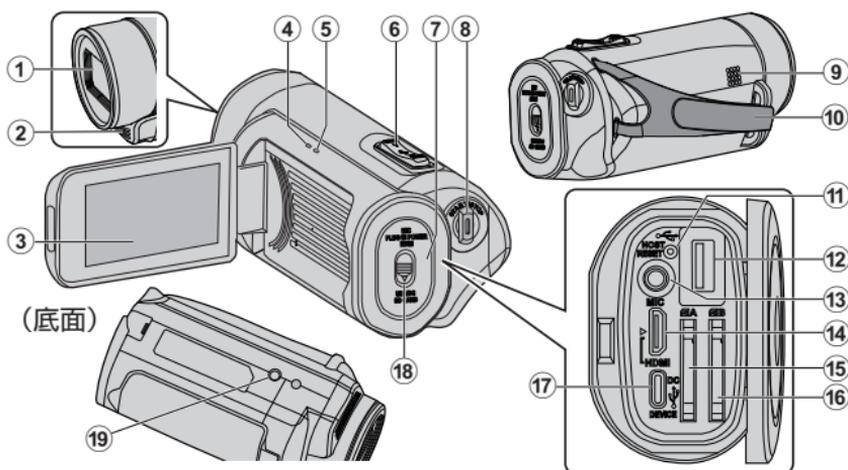
■ ダブル SD カードスロット

2 枚の SD カード(別売)を挿入しての長時間記録に対応
2 枚の連続記録(4K/フル HD)、2 枚の同時記録(フル HD)

■ Wi-Fi 対応

別売の無線 LAN アダプターでビューリモコンやライブストリーミングが可能
離れたところからのリモコン操作やライブモニタリング、映像配信、静止画転送

各部のなまえとはたらき



- | | |
|--------------------------------------|---|
| ① レンズ保護ガラス | ⑨ スピーカー |
| 保護ガラスが汚れた場合は、市販のクリーニングクロスなどで拭いてください。 | ⑩ グリップベルト(p. 11) |
| ② ステレオマイク | ⑪ リセットボタン(p. 32) |
| ③ 液晶モニター | ⑫ USB ホスト端子(A タイプ)
(p. 25) |
| ④ CHARGE(充電)ランプ(p. 12) | ⑬ マイク端子 |
| ⑤ POWER/ACCESS(電源/アクセス)ランプ | ⑭ HDMI 端子(p. 20) |
| ⑥ ズーム/音量レバー(p. 17,p. 19) | ⑮ SD カードスロット A |
| ⑦ 端子カバー(SD カードカバー)
(p. 11) | ⑯ SD カードスロット B |
| ⑧ START/STOP(撮影)ボタン
(p. 17) | ⑰ DC/USB デバイス端子(C タイプ)
(p. 12,p. 24) |
| | ⑱ カバーロック(p. 11) |
| | ⑲ 三脚取り付け穴 |

🔌 本機の電源の入れかた

- 液晶モニターを開くと電源が入ります。
(ゆっくりと開いてください。)
- 電源を切るときは液晶モニターを閉じてください。
(POWER/ACCESS ランプが消えて電源が切れます。)
メニューから電源を切ることもできます。(p. 26)



液晶モニター上のボタンのなまえとはたらき

各モードで表示される画面の例です。
タッチパネルとして操作できます。
(p. 10)

撮影画面



- ① オート/マニュアル切替ボタン
- ② カードスロット切替ボタン
- ③ 静止画撮影ボタン (p. 18)
- ④ 再生モード切替ボタン
- ⑤ 再生モードに切り換えます。
- ⑥ 撮影開始/停止ボタン (p. 17)
- ⑦ メニューボタン (p. 26)
- ⑧ 画面表示切替ボタン

一部の表示は画面操作をしないと自動的に消えます。(シンプル表示)
ボタンをタッチすると、すべてを表示させることができます。(フル表示)
ボタンをタッチするたびにシンプル表示とフル表示を切り換えることができます。

再生画面(動画)



- ① 動画シーン切り出しボタン
一時停止すると使用できます。
- ② 撮影モード切替ボタン
撮影モードに切り換えます。
- ③ 一覧表示(サムネイル表示)ボタン
- ④ 選択ボタン
再生中の動画を[選択]しておくことで、プロテクトや削除が簡単にできます。ボタンをタッチするたびに、選択と選択解除を切り換えることができます。
- ⑤ プロテクトボタン
- ⑥ 操作ボタン
- ⑦ 画面表示切替ボタン

再生画面(静止画)



- ① 表示拡大ボタン
- ② 撮影モード切替ボタン
撮影モードに切り換えます。
- ③ 一覧表示(サムネイル表示)ボタン
- ④ 選択ボタン
再生中の静止画を[選択]しておくことで、プロテクトや削除が簡単にできます。ボタンをタッチするたびに、選択と選択解除を切り換えることができます。
- ⑤ プロテクトボタン
- ⑥ 操作ボタン
- ⑦ 画面表示切替ボタン

一覧表示(サムネイル表示)



- ① 静止画再生モード切換ボタン
- ② 動画再生モード切換ボタン
- ③ カーソル左右移動ボタン
- ④ 再生ボタン
- ⑤ 撮影モード切換ボタン
撮影モードに切り換えます。
- ⑥ アクションメニューボタン
シーン削除、トリミングなどのメニューを表示します。(p. 19)
- ⑦ 選択ボタン
シーン(ファイル)を選択して、プロテクトや削除を行ないます。ボタンをタッチするたびに、選択と選択解除を切り換えることができます。

- ⑧ 詳細情報画面切換ボタン
撮影情報を見ることができます。
- ⑨ メニューボタン
- ⑩ カーソル上下移動ボタン
- ⑪ スロット切換ボタン

メニュー画面(撮影モード)



- ① カーソル上下移動ボタン
- ② 決定ボタン
- ③ 戻るボタン
- ④ 電源オフボタン(p. 26)
- ⑤ STATUS 画面表示ボタン
(p. 26)
- ⑥ 終了ボタン(p. 26)

タッチパネルの使いかた

画面を指でタッチして操作できます。

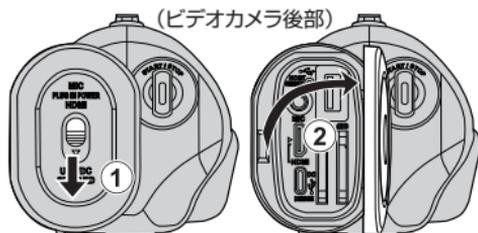
A 画面上のボタン(アイコン)やファイル(映像)をタッチして、選択します。



- 本機のタッチパネルは圧力を感知するタイプです。スムーズに動かないときは、少し強めに指を押し当てながら操作してください。
- 必要以上に強く押したり、先の鋭い物で操作したりしないでください。
- 2箇所以上を同時にタッチすることはできません。
- タッチパネルの反応する位置がずれている場合は、[タッチパネル調整](p. 28)を行ってください。
- 水中ではタッチパネルは使えません。誤動作を防ぐために[画面ロック]してください(p. 4)。

端子カバー(SDカードカバー)を開ける

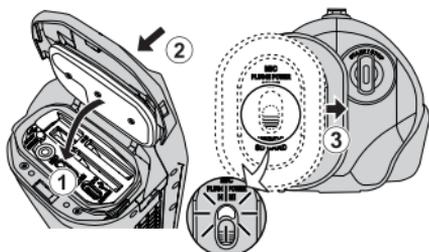
- ① カバーロックを下側にずらす
・ カバーが自動で左にスライドします。
- ② ゆっくりとカバーを起こす



■ 閉めるとき

- ① 灰色の防水パッキンが端子口に収まるように、ゆっくりと倒して閉じる
- ② カバー全体を均等な力で本体側に押し付け、完全に密着させる
- ③ カバーを「カチッ」と音がするまでスライドさせる

(カバーロックの赤い印が見えていないときは、正しく閉まっていません。)

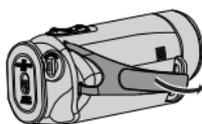


赤い印が見えていないと、正しく閉まっていません。

ご注意

- ・ 端子カバーを開閉するとき、無理な力をかけないようにしてください。
- ・ 水中または水滴がかかる場所で使用する場合は、「水中で使用する時のご注意」(p. 4)をお読みください。

グリップベルトを調節する



① ベルトをめくる



② ベルトの長さを調整する



③ ベルトをしめる

準備する

撮影する

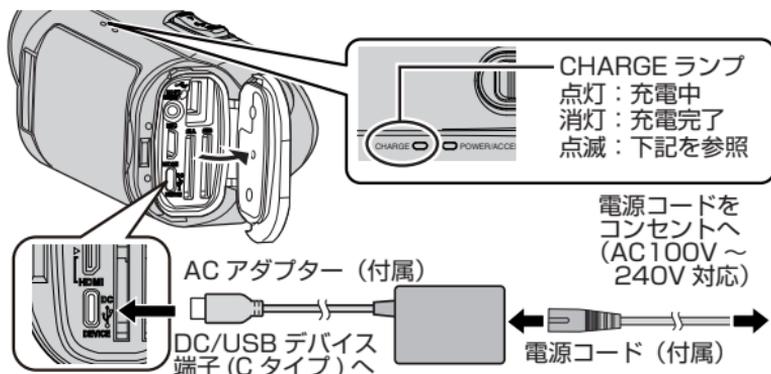
再生する

保存する

その他

充電する

本機のバッテリーは内蔵タイプです。
端子カバーを開けて、図のように接続してください。



ご注意

- ご購入時、内蔵バッテリーは充電されていません。
- お買い上げ時、または長時間使用していない場合、通常よりも充電時間が長くなります。
- 充電時間：約 5 時間 (25°C で充電したとき)
- 室温 10°C ~ 35°C の範囲外の場所では、充電ができません。充電ができない場合 CHARGE ランプはゆっくり点滅します。充電中に温度が上昇または低下した場合、CHARGE ランプがゆっくりと点滅して充電を止めます。上記室温の範囲内でもう一度充電を行ってください。
- 付属の AC アダプターを使用すると、撮影や再生をしているときも充電することができます。(充電時間は通常より長くなるか、または充電できない場合があります。) 本機を使用中に内部温度が上昇した場合、充電を一時的に止めます。(このとき CHARGE ランプはゆっくり点滅します。)
- 充電中に不具合(過電圧など)が生じた場合、充電が停止します。この場合、CHARGE ランプが速く点滅してお知らせします。
- 十分に充電しても、撮影時間が極端に短くなったときはバッテリーの寿命です。保管環境、使用環境による内蔵バッテリーの故障、およびご使用によるバッテリーの消耗による性能低下については、保証期間中でも保証対象外となり有償となります。最寄りのサービス窓口にご相談ください。(p. 39)

※ モバイルバッテリーのご使用については、Web ユーザーガイドをご覧ください。

初期設定をおこなう

はじめて電源を入れたとき、初期設定として表示言語の選択と内蔵時計の設定をおこないます。初期設定が完了するまで、他の操作は一切できません。

1 液晶モニターを開く

- 本機の電源が入り、言語選択画面が表示されます。

2 使用する言語を設定する



- 上下ボタンをタッチして使用する言語を選び、[SET] ボタンをタッチします。

3 タイムゾーンと日時を設定する



- 日本のタイムゾーンは、UTC+09:00 です。
- 左右ボタンでカーソルを動かし、設定する項目を選びます。
- 上下ボタンで数値を変更します。
- 設定が完了したら、時報に合わせて[SET] ボタンをタッチします。

時計を合わせ直すときは

[システム]メニューの[時計合わせ]から時計を合わせてください。タイムゾーンを合わせ直すときは、[システム]→[タイムゾーン]を選びます。

- ① 液晶モニターを開く
 - 本機の電源が入ります。
- ② [MENU]をタッチする
- ③ [システム]を選んで[SET]ボタンをタッチする
- ④ [時計合わせ]を選んで[SET]ボタンをタッチする
 - 以降の設定のしかたは、前述の手順3と同じです。

お知らせ

- バッテリーを使い切った状態で約1ヵ月間経過すると、時計がリセットされます。そのため、次回電源を入れたときにタイムゾーンと日時を設定する画面が表示されます。バッテリーを充電してから、時計を再設定してください。

準備する

撮影する

再生する

保存する

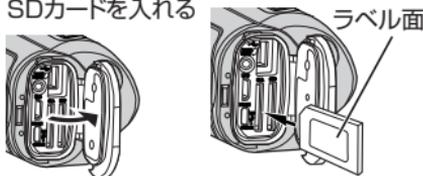
その他

SDカードを準備する

撮影前に市販のSDカード(4GB~512GB)をスロットA、スロットBのどちらか、または両方に入れてください。

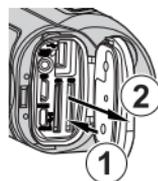
■ SDカードを入れる

- 1 液晶モニターを閉じて本機の電源を切る
- 2 端子カバーを開ける
- 3 SDカードを入れる



■ SDカードを取り出すとき

SDカードを一度押し込んでから、まっすぐ引き抜いてください。



- ご使用前に[SD フォーマット]を行ってください。(p. 15)
- SDカードの取り出しは、液晶モニターを閉じてPOWER/ACCESSランプが消灯したことを確認してから行ってください。

お知らせ

次のSDカードで動作を確認しています。

メーカー名	JVC、パナソニック(Panasonic)、東芝(TOSHIBA)、サンディスク(SanDisk)
4K撮影時/ High-Speed撮影時	Class 10(CLASS 10)以上対応のSDHCカード、SDXCカード(4GB~512GB)
HD撮影時	Class 4(CLASS 4)以上対応のSDHCカード、SDXCカード(4GB~512GB)

- すべてのSDカードの動作を保証するものではありません。
- miniSDカード、microSDカード(アダプターに入れた場合を含む)を使用しないでください。故障の原因となります。
- 本機で撮影、編集したSDカードは、本機以外のビデオカメラでは再生、編集できません。
- SDカードの端子部を触らないでください。データが消えることがあります。
- パソコンでSDXCカードを使用する場合は、お使いのパソコンのOSをご確認ください。パソコンのOSの対応状況は、Webユーザーガイドでご確認ください。
- 1枚のSDカードで動画と静止画を記録できます。
- SDXCカードを使用して[4GBごとに分割]を[切(SDXCのみ)]にすると、長時間撮影したときにファイルを4GBで分割しないで記録できます。

■ 使用する SD カードを切り換える

両方のカードスロットに SD カードが挿入されている場合、タッチパネルの[SLOT]ボタンで使用するカードを切り換えることができます。



メニューの[SD スロットモード]を[連続記録]にしておくと、記録中の SD カードがいっぱいになったときは、自動的に他方のスロットの SD カードに切り換わります。

■ [SD フォーマット]を行う

新品の SD カードや、ほかの機器で使っていた SD カードを本機で初めて使うときは、カードのフォーマット(初期化)を行ってください。フォーマットすると、SD カード内のデータはすべて消えます。フォーマットする前に、SD カード内のすべてのファイルをパソコンなどにコピーしてください。

- ① [システム]→[SD フォーマット]を選択し[SET]ボタンをタッチする
- ② フォーマットする SD カードスロットを選択し[SET]ボタンをタッチする
- ③ 選択された SD カードの状態が表示されたら、[フォーマット]を選択し[SET]ボタンをタッチする
- ④ フォーマットが終了すると、"完了しました"と表示され、[SD フォーマット]画面に戻る

SD カードを挿入すると、挿入したスロットごとに撮影可能時間が表示されます。白いカードが現在選択されているスロットです。なにも表示されていないときは、**D** 画面表示切換ボタンをタッチします。



撮影可能時間が表示されず、以下の表示のときは撮影できません。
SD カードを確認してください。

	SD カードがライトプロテクト(書き込み禁止)されている
! INVALID	書き込み/読み込みエラー、または修復が困難な SD カード
! INCORRECT	挿入している SD カードのスピードクラスが要求スピードを満たしていない
! REC INH	[4GB ごとに分割]が[切(SDXC のみ)]に設定されているときに、SDHC カードが挿入された
	HD で記録しようとしたときに、挿入した SD カードに 50p や 50i の映像信号で記録した動画がある

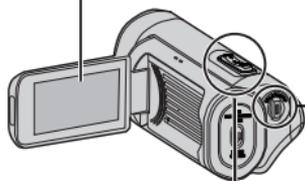
動画を撮る

オート撮影モードでは、ビデオカメラが明るさやフォーカスなどを撮影状況に応じて自動的に調整します。

※大切な撮影をする前に、試し撮りすることをおすすめします。

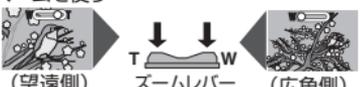
- 1 記録できるSDカードが入っているか確認する

 - スロットA、またはBに撮影可能時間が表示されているかを確認します。
- 2 撮影モードが **[A]** オートか確認する
 - **[M]** マニュアルになっているときは、**[M]** をタッチしたあと、**[A]** をタッチして切り換えます。

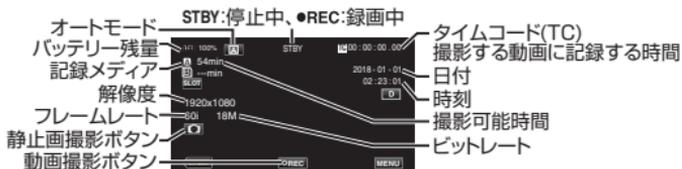


- 3 撮影を開始する

 - もう一度押すと、停止します。
 - タッチパネルの **[REC]** ボタンでも撮影できます。停止するときは、**[REC]** ボタンをタッチします。

- ズームを使う


■ 動画撮影中の表示



一部の表示は約3秒間で消えます。すべてを表示させるには **[D]** 画面表示切換ボタンをタッチします。

お知らせ

- 本体バッテリーを満充電した場合の撮影時間の目安は、約2時間20分(4K時の実撮影時間)です。
- 手ぶれ補正の入切で画角が変わる場合があります。
- [オートパワーオフ]が[入]のときは、何も操作せずに5分経つと、節電のために電源が自動的に切れます。(ACアダプター使用時は待機状態になります。)
- 撮影した動画ファイルのサイズが4GBを超える場合、複数のファイルに分割して記録します。ただし、[4GBごとに分割]を[切(SDXCのみ)]に設定すると最大64GBまたは4時間まで記録できます。([システム]が[4K]、または[High-Speed]で、SDXCカード使用時のみ設定できます。)

準備する

撮影する

再生する

保存する

その他

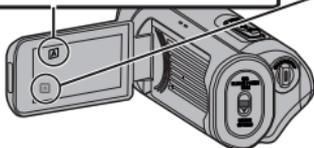
静止画を撮る

■ 撮影モードで静止画を撮影する

1 記録できるSDカードが入っているか確認する



- スロットA, またはBに残時間が表示されているかを確認します



2 タッチパネルの静止画撮影ボタンをタッチする



PHOTO 静止画記録中に点灯

■ 動画のワンシーンを静止画にする

1 タッチパネルの《PLAY》をタッチして、再生モードにする

- * 撮影モードに戻すには、《REC》をタッチします。

2 動画をタッチして、動画を選ぶ

3 再生するシーンを選んで、再生ボタンをタッチする



4 お好みの位置で一時停止し、[PAUSE] ボタンをタッチする



※切り出した静止画は、選択されている SD カードに記録されます。

お知らせ

- 静止画撮影専用モードはありません。
- 液晶モニターを反転させたとき、または[液晶クローズド撮影]が ON のときに、閉じたまま使用できますが、本機の温度が上がります。日光が直接あたる場所や温度が高い環境、または長時間連続でお使いになるときは、液晶モニターを開いたままご使用ください。
- 本機の温度が上がると回路保護のため、電源が切れることがあります。

本機で映像を見る/削除する

撮影した動画や静止画を一覧表示(サムネイル表示)から選んで再生します。

1 タッチパネルの **◀PLAY▶** をタッチして、再生モードにする

*撮影モードに戻すには、**◀REC▶** をタッチします。

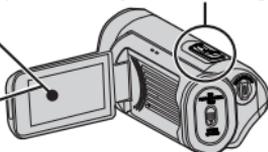
2 **📷** または **📺** をタッチして、動画または静止画を選ぶ

3 再生するシーン(ファイル)を選んで、再生ボタンをタッチする



- [SLOT] ボタンをタッチすると、再生するSDカードが切り換わります。
- 再生中に表示されるボタンの操作方法は、下の表をご覧ください。

- ズームレバーで再生中の動画の音量を調節できます。(+:大きく、-:小さく)



■ 不要な映像を削除するには

- ① 一覧表示(サムネイル表示)で不要な映像にカーソルを合わせる(すべてのシーンを削除するときは、必要ありません。)
- ② 一覧表示(サムネイル表示)でアクションメニューを開く
- ③ [シーン削除]を選んで[SET]ボタンをタッチする
- ④ [このシーン]か[すべてのシーン]を選んで[SET]ボタンをタッチする
- ⑤ 確認画面で、[削除]を選んで[SET]ボタンをタッチする

- 再生したい映像が見つからないときは、撮影モードにしてメニューから[システム]→[記録設定]→[記録フォーマット]で、[システム]、または[フレームレート]を変更してください。[システム]、または[フレームレート]が、撮影した映像と異なる設定のときは再生できません。(p. 31)

■ 再生中に使える操作ボタン(※)

ボタン	動画再生中	ボタン	静止画再生中
▶/	再生/一時停止	▶/	スライドショー開始/一時停止
📺	停止(一覧表示に戻る)	📺	停止(一覧表示に戻る)
▶▶	次の動画に進む	▶▶	次の静止画に進む
◀◀	シーンの先頭に戻る	◀◀	前の静止画に戻る
▶▶	早送り	⊕	拡大表示
◀◀	早戻し	-	-
▶	一時停止中にコマ送り	-	-
◀	一時停止中にコマ戻し	-	-

※ ボタン表示は自動的に消えます。もう一度表示させるには、画面をタッチしてください。

■ 動画のワンシーンを静止画にするとき(p. 18)

準備する

撮影する

再生する

保存する

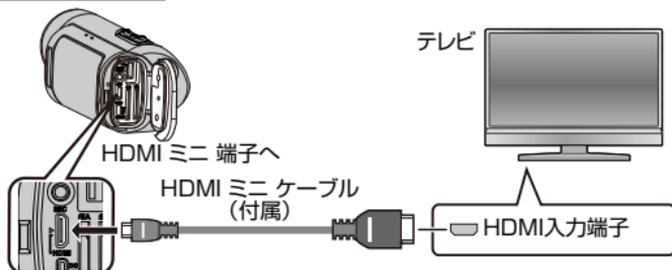
その他

テレビで映像を見る

1 テレビに接続する

- 接続の前にビデオカメラとテレビの電源を切ってください。
- テレビの端子の位置や入力切り替え方法については、テレビの取扱説明書をご覧ください。ご不明な点は販売店またはテレビの製造元にお問い合わせください。

HDMI 端子でつなぐ



- 4K で撮影した映像は、4K 対応テレビをお使いの場合は 4K 画質で、ハイビジョンテレビをお使いの場合はハイビジョン画質で再生することができます。
- 付属の HDMI ミニケーブル以外をお使いになるときは、High Speed HDMI ミニケーブルをお使いください。
- HDMI 入力端子が無いテレビでは、見ることはできません。

2 液晶モニターを開く

- 本機の電源が入ります。

3 テレビの入力を切り換える

- テレビ側で操作してください。

4 映像を再生する (p. 19)

■ 日時などを表示して再生したいときは

[映像/音声設定]から[映像設定]→[テレビ表示]を[入]にしてください。

保存のしかた

本機はパソコンなどにつないでディスク作成や保存ができます。

○:記録/再生できる △:再生のみできる —:記録/再生できない

メディアの 選択		4K 画質		HD 画質				標準 画質
		機器 内蔵の HDD	SD カード	AVCHD (DVD ディスク)	Blu-ray (ブルー レイ ディスク)	機器 内蔵の HDD	SD カード	DVD (DVD ディスク)
使用する機器	ブルーレイ レコーダー ※1	—	—	△※4	○※5	○	—	—
	パソコン	○※2	—	○※6	○※6	○	—	○※6
	ビデオ カメラ (本機)	—	○※3	—	—	—	○※3	—

※1 4K、または High-Speed で記録した動画は、保存できません。

※2 4K 画質の動画のスムーズな再生には、推奨動作環境以上が必要です。
詳しくは Web ユーザーガイドをご覧ください。

※3 映像を記録した SD カードでそのまま保存します。

※4 AVCHD 対応機器のみ

※5 記録時は AVCHD 対応機器のみ

※6 CyberLink PowerDirector を使用します。(p. 23)

お知らせ

- DVD ライター、BD ライター、外付け型ハードディスクをビデオカメラに接続して使用することはできません。
- AVCHD は DVD ディスクにハイビジョン画質で保存(記録)します。AVCHD に対応していない機器では再生できませんので、ご注意ください。
- [フレームレート]を[60p]で記録した動画を保存したブルーレイディスクは、AVCHD Progressive 対応機器でのみ再生できます。

準備する

撮影する

再生する

保存する

その他

パソコンに保存する

SD カードのフォルダーを丸ごとコピーすることで、SD カードにファイルを書き戻してビデオカメラで再生することができます。

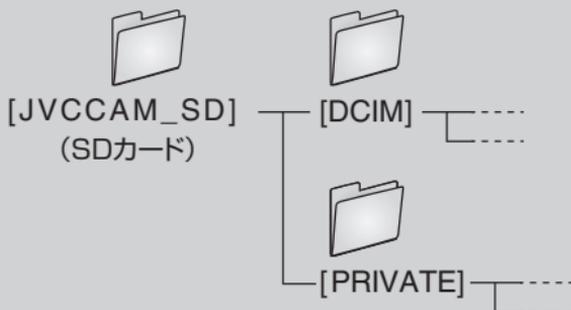
パソコンに SD カードの動画や静止画をバックアップする方法、パソコンから SD カードに書き戻す方法については、Web ユーザーガイドをご覧ください。

お知らせ

- バックアップは提供ソフト CyberLink PowerDirector 14 をインストールしなくても可能です。

ご注意

- 4K で記録した映像をパソコンにバックアップしたあと、パソコンから SD カードに書き戻して本機で再生するためには、パソコンへのバックアップ、パソコンからの書き戻しをするときに、SD カードに記録したときのフォルダー構造が変わらないようにしてください。(下図参照)パソコンにバックアップしたファイルの移動、名前の変更などをすると正常に再生できなくなります。
- 本機以外で撮影したファイルは再生できません。



Mac コンピューターをお使いのかたは

アップル社の iMovie (Version 10) (動画)、または iPhoto/写真アプリ (静止画) を使って、コンピューターにファイルを取り込めます。

- 操作については、Web ユーザーガイド、および iMovie、iPhoto/写真アプリのヘルプをお読みください。
- すべてのコンピューター環境での動作を保証するものではありません。

CyberLink PowerDirector を使う

動画編集ソフト CyberLink PowerDirector 14 をダウンロードしてお使いいただけます。

PowerDirector はカット、トリミング、結合、トランジション効果、エフェクト、テキスト追加などの多彩な編集ができます。

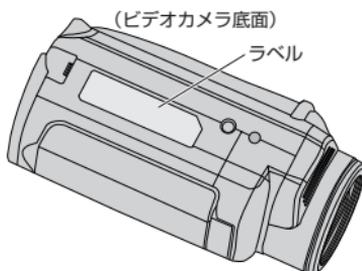
編集後は用途に応じたファイル形式への変換、動画サイトへのアップロード、各種ディスク作成ができます。

ご利用の手順は Web ユーザーガイドをご覧ください。

ダウンロード URL

<http://www.cyberlink.com/JVC/PDR/>

- ダウンロードの際には本機のシリアルナンバーの入力が必要です。シリアルナンバーはビデオカメラ本体底面のラベルに印字されています。



- CyberLink PowerDirector のご不明な点は (p. 38) のサイバーリンクカスタマーサポートにお問い合わせください。

ご注意

PowerDirector で出力したファイルは、本機では再生できません。

準備する

撮影する

再生する

保存する

その他

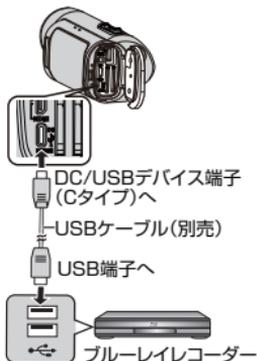
ブルーレイレコーダーにつないでダビングする

1 端子カバーを開ける

2 ダビングする SD カードを入れる

- SD カードを入れる前に液晶モニターを閉じて本機の電源を切ってください。
- SD カードは 1 枚だけ入れてください。2 枚入れてもブルーレイレコーダーは 1 枚しか認識しません。

3 別売の USB ケーブルでブルーレイレコーダーに接続する



4 液晶モニターを開く

- USB モードを示す画面になります。



5 ブルーレイレコーダー側でダビングする

- ブルーレイレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

6

ダビングが終了したら、本機の液晶モニターを閉じ、POWER/ACCESSランプが消えたことを確認してから USB ケーブルを抜く

お知らせ

- AVCHD 規格対応のブルーレイレコーダーと本機を接続すると、ハイビジョン画質のままダビングできます。ディスクの作り方については、お使いのレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- [フレームレート]を [60p] で記録した動画を保存するときは、AVCHD Progressive 対応のブルーレイレコーダーをお使いください。
- [フレームレート]を [60p] で記録した動画は、DVD ディスクには保存できません。
- 動作確認済みのブルーレイレコーダー以外をお使いの場合は、不具合が発生することがあります。下記のホームページをご覧ください。

<http://www3.jvckenwood.com/support/qa/cam.html>

ご注意

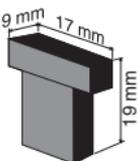
- 4K、または High-Speed で記録した動画は、ブルーレイレコーダーに保存することはできません。
- バッテリー残量が不足していると、この操作は完了できません。はじめに本機を満充電してください。

Wi-Fi機能を使う

Wi-Fi機能は、USB ホスト端子に無線 LAN アダプター(別売)を装着することにより動作可能となり、スマートフォンやタブレットなどと接続して次のようなことができます。

詳しい使い方や動作確認済み無線 LAN アダプターについては、Web ユーザーガイドをご覧ください。

- すべての無線 LAN アダプターの動作を保証するものではありません。
- Wi-Fi 機能は水中では使用できません。
- 図の寸法より大きい無線 LAN アダプターを使用すると、端子カバーを閉じることができません。
- 装着する無線 LAN アダプターの形状によっては、取りはずしづらい場合があります。取りはずしづらい場合は、Web ユーザーガイドをご覧ください。



リモコンのように使いたい

ビューリモコン
(ダイレクト接続)

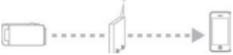
WiFi



子供やペットの様子を別の部屋から見たい

ビューリモコン
(アクセスポイント接続)

WiFi



今の感動を家族や仲間と共有したい

ライブストリーミング

WiFi



ビデオカメラで撮影した映像を切り出して共有したい

静止画転送

WiFi



準備する

撮影する

再生する

保存する

その他

メニュー操作のしかた

メニューを使ってさまざまな設定ができます。

1 [MENU]をタッチする



2 メニューの希望する項目を選択し、[SET]ボタンをタッチする

(撮影モードのとき)



STATUS:

現在の設定状態を確認するための画面を表示します。

P.OFF:

約2秒押し続けると、電源をオフします。

3 設定したい項目を選択する



- ^ および v でスクロールします。
- [SET] ボタンをタッチして決定します。

■ 設定を終了するとき

[X] ボタンをタッチする

■ 一つ前の画面に戻るとき

[←] ボタンをタッチする

メニュー一覧

■【メインメニュー】

- ・ [カメラ機能]: 撮影時のビデオカメラの動作(手ぶれ補正等)の設定をします。
- ・ [カメラ設定]: 撮影時の画質調整に関する設定をします。
- ・ [タイムコード(TC)設定]: タイムコードを設定します。
- ・ [モニター設定]: 液晶モニターの表示に関する設定をします。
- ・ [映像/音声設定]: オーディオやビデオ出力に関する設定をします。
- ・ [システム]: 記録フォーマットや時計などビデオカメラ全体に関わる設定をします。

■【カメラ機能メニュー】

- ・ [タッチ優先 AE/AF]: 人物の顔、またはタッチした部分の色やエリアに合わせて、フォーカスと明るさが自動的に調節されます。
- ・ [動画セルフタイマー]: 動画用セルフタイマーを設定します。
- ・ [静止画セルフタイマー]: 静止画用セルフタイマーを設定します。
- ・ [手ぶれ補正]: 撮影時の手ぶれを効果的に補正して撮影できます。
- ・ [ズーム倍率]: ズームの最大倍率を設定します。
- ・ [テレマクロ]: ズームの望遠(T)側のときに接写できるようになります。
- ・ [フリッカー補正]: 蛍光灯などによるフリッカー(チラつき)を補正します。

■【カメラ設定メニュー】

- ・ [フォーカス]: 手動でピント合わせができます。
- ・ [明るさ補正]: 画面の明るさ補正をオートで行うか、マニュアルで行うかを設定します。
- ・ [シャッタースピード]: シャッタースピードを調節できます。
- ・ [絞り]: 絞り値を調節できます。
- ・ [感度アップ]: 暗いところで自動的に明るく調節します。
- ・ [逆光補正]: 逆光で被写体が暗くなるのを補正します。
- ・ [Lolux]: Lolux(低照度撮影モード)を設定します。
- ・ [ディテール]: 撮影時の輪郭強調レベルを調節します。
- ・ [ガンマ]: 黒の再現性を決定するガンマカーブを補正します。
- ・ [ワイドダイナミックレンジ]: WDR(入力映像に対して、階調補正処理を加えることで映像のコントラスト感を高める機能)を設定します。
- ・ [ホワイトバランス]: 光源に合わせて、色合いを調節できます。
- ・ [カラーマトリクス]: カラーマトリクス(RGBの3つの値で表された色を別のRGB値に変換する行列)により好みの色合いに調節します。
- ・ [カメラ設定リセット]: [カメラ設定メニュー]項目をお買い上げ時の設定に戻します。

準備する

撮影する

再生する

保存する

その他

■【タイムコード(TC)設定メニュー】

- [TC ジェネレーター]:タイムコードのカウントアップ方式を設定します。
- [TC プリセット]:タイムコードの値を設定します。

■【モニター設定メニュー】

- [撮影補助]:撮影補助機能を設定します。
- [グリッドマーカー]:被写体の傾きや構図がわかるように格子状の線(グリッド)を表示します。
- [表示設定]:液晶モニターの表示内容に関する設定をします。
- [モニター明るさオート]:画面の明るさを自動で補正するかどうかを設定します。

■【映像/音声設定メニュー】

- [映像設定]:映像出力に関する設定をします。
- [音声設定]:音声に関する設定をします。

■【システムメニュー】

- [記録設定]:記録モードに関する設定をします。
- [SD フォーマット]:SD カードのファイルをすべて消去(初期化)します。
- [SD 修復]:SD カードを修復します。
- [スマートユーザーガイド]:スマートユーザーガイドの URL の QR コードを表示します。
- [マナーモード]:操作音を OFF にして画面の明るさを抑えたマナーモードに設定できます。

- [画面ロック]:水中で撮影するときに、タッチパネルの画面をロックして誤操作を防止します。
- [液晶クローズド撮影]:撮影中または Wi-Fi 接続中に液晶モニターを閉じて電源が切れなくなります。
- [高速起動]:5 分以内に再び画面を開くと、すぐに起動できます。
- [オートパワーオフ]:電源の切り忘れ防止のため、5 分放置でバッテリー使用時は電源を切り、AC アダプター使用時は待機状態になります。
- [デモモード]:本機の機能のデモを再生できます。
- [Language]:メニューなどで表示する言語を設定します。
- [工場出荷]:すべての設定をお買い上げ時の設定に戻します。
- [時計合わせ]:現在時刻を修正したり、海外で使うときに合わせ直します。
- [タイムゾーン]:UTC(世界標準時)からの時差を 30 分単位で設定します。
- [タッチパネル調整]:タッチパネルボタンの反応位置を調整します。
- [スマートフォン給電]:ビデオカメラの内蔵バッテリーでスマートフォンに給電をすることが出来ます。
- [ネットワーク]:Wi-Fi の設定をします。
- [ファームウェア更新]:本機の機能を最新版に更新できます。
- [システム情報]:システム情報を表示します。

- 詳しい設定内容については、Web ユーザーガイドをご覧ください。
- メニューの使いかたは、p. 26 をご覧ください。

撮影時間/枚数の目安

動画の撮影可能時間の目安

画質		SDHC/SDXC カード					
		4 GB	16 GB	32 GB	64 GB	128 GB	512 GB
4K		6 分	26 分	53 分	1 時間 45 分	3 時間 30 分	14 時間
HD	28M	16 分	1 時間 7 分	2 時間 15 分	4 時間 30 分	9 時間	36 時間 10 分
	24M	19 分	1 時間 18 分	2 時間 37 分	5 時間 15 分	10 時間 30 分	42 時間 10 分
	18M	25 分	1 時間 44 分	3 時間 30 分	7 時間	14 時間	56 時間 10 分

- 撮影状況によって上記時間よりも増減します。
- [28M]は、[フレームレート]が[60p]のときのみ、[24M][18M]は、[フレームレート]が[60i]のときのみ設定できます。

静止画の撮影可能枚数の目安(単位:枚)

画像サイズ	SDHC/SDXC カード				
	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB	64 GB
3840x2160 (8.3M) (16:9)	800	1600	3100	4000	4000
1920x1080 (2M) (16:9)	3100	4000	4000	4000	4000

内蔵バッテリーの持続時間の目安

記録フォーマット	実撮影時間	連続撮影時間
4K (30p / 70M)	2 時間 20 分	4 時間 20 分
HD (60i / 18M)	3 時間	5 時間 20 分

- [モニターバックライト]が[0]のときの値です。
- 実撮影時間は撮影、撮影停止、電源の入/切、ズーム動作などを繰り返した場合の撮影時間です。
- 撮影環境や使用方法によって、撮影時間は変化します。
- 十分に充電しても、撮影時間が短くなったときはバッテリーの寿命です。保管環境、使用環境による内蔵バッテリーの故障及び、ご使用によるバッテリーの消耗による性能低下については、保証期間中でも保証対象外となり有償となります。最寄りのサービス窓口にご相談ください。(p. 39)

準備する

撮影する

再生する

保存する

その他

困ったときは

困ったときには修理を依頼する前に以下の手順でご確認ください。

- 1 以下の「こんなときは…」をご覧ください。
- 2 Web ユーザーガイドの「困ったときは」をご覧ください。
使いかたで困ったときも Web ユーザーガイドに詳しい説明が記載されています。
• <http://manual3.jvckenwood.com/cam/pc/c8c/gz-ry980jp/>
- 3 ホームページで最新の製品 Q&A 情報をご覧ください。
• <http://www3.jvckenwood.com/dvmain/support/index.html>
- 4 「正常に動作しないときは」の手順で本機をリセットしてください。(p. 32)
- 5 [システム]メニューの「工場出荷」で設定をお買い上げの状態に戻してください。
- 6 上記確認で解決しない場合や不具合がある場合は、お買い上げ店、または弊社カスタマーサポートセンター(p. 38)にお問い合わせください。

こんなときは…

こんなときは		ここを確かめてください	参照ページ
電源	AC アダプターを接続しても電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> • AC アダプターが正しく接続されているか確認してください。 • 充電しても電源が入らないときは、本機をリセットしてください。 	p. 12 p. 32
	撮影できない	<ul style="list-style-type: none"> • SD カードを入れてください。 • SD カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側にセットされていないか確認してください。 • 挿入されている SD カードが現在の記録モードに対応しているか確認してください。 • 画面の REC ボタンをタッチして撮影モードにしてください。 	p. 14 p. 17
撮影	自動的に撮影が停止した	<ul style="list-style-type: none"> • 本機をリセットし、しばらく経ってから電源を入れてください。(本機の温度が上がると、回路の保護のため自動的に停止します。) • [システム]が[HD]のときは 12 時間連続撮影すると撮影が停止します。 	p. 32
	オートで正しく撮影できない	<ul style="list-style-type: none"> • 撮影状況によっては、オートで明るさやフォーカスが正しく調整されないことがあります。このようなときは、マニュアルで調整してください。 	-

こんなときは		ここを確かめてください	参照ページ
再生	音や映像が途切れる	<ul style="list-style-type: none"> シーンとシーンのつなぎ部分で途切れることがあります。故障ではありません。 	-
その他	充電中、ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> バッテリー残量を確認してください。(バッテリーが満充電されていると、ランプが点灯しません。) 接続をお確かめの上、ACアダプターを抜き差ししてください。 低温や高温の環境では充電できません。室温10℃～35℃の範囲内で充電してください。(範囲外の環境では、バッテリー保護のため充電を中止することがあります。) 	p. 12
	CHARGE ランプと POWER/ACCESS ランプが点滅して操作できない	<ul style="list-style-type: none"> 本機をリセットしてから、再度電源を入れてください。解決しない場合は、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。 	p. 32
	本機が熱くなる	<ul style="list-style-type: none"> 故障ではありません。(長時間使用すると、本機が多少熱くなることがあります。) 	-
	SD カードが抜けない	<ul style="list-style-type: none"> ゴミ等の付着が原因で SD カードが抜けなくなることがあります。ピンセット等で SD カードを引き抜き、ゴミ等を除去した後、再度挿入してください。 	-

こんな表示がでたら…

こんな表示がでたら		ここを確かめてください	参照ページ
このカードは、本機で記録、編集できません		<ul style="list-style-type: none"> バックアップをとったあと、[システム]メニューの[SD フォーマット]を実行してください。(データはすべて消えます。) 	p. 28
修復不可能なメディアです		<ul style="list-style-type: none"> バックアップをとったあと、[システム]メニューの[SD フォーマット]を実行してください。(データはすべて消えます。) 	p. 28
サムネイル画面が下記の表示のときは		<ul style="list-style-type: none"> メニューから[システム]→[記録設定]→[記録フォーマット]で、[システム]、または[フレームレート]を変更してください。 	-
			

準備する

撮影する

再生する

保存する

その他

正常に動作しないときは

リセットする

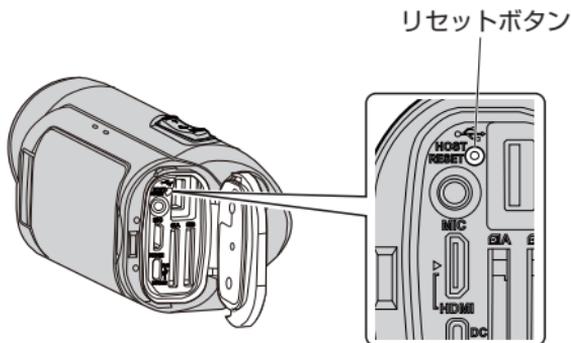
本機はデジタル機器のため、静電気や妨害ノイズによりエラー表示や正常に動作しないことがあります。その場合は、以下の手順で本機をリセットしてください。(撮影データは消去されません)

1 端子カバーを開ける

- すべての電源やコード類は取りはずします。

2 液晶モニターを閉じて本機の電源を切る

3 先の細いものでリセットボタンを軽く押す



使用上のご注意

- 精密機械ですので過度な振動・衝撃を与えないでください。

液晶モニターが開いた状態での落下や、レンズ面への衝撃を避けてください。液晶モニターやレンズが破損する恐れがあります。また、記録や再生ができなくなる場合があります。

- 本機を直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。

内部のバッテリーは、高温になると破裂することがあります。

- 本機をタオルや布などで覆って使用しないでください。

- 撮影したデータはパソコンや他のメディアに保存してください。

データが失われた際、弊社では一切の責任を負いかねますので、パソコンや他のメディア(別のSDカードなど)に定期的に保存してください。3カ月に1回程度は保存することをおすすめします。

- 本機やパソコンの機能によるファイルの削除、または本機の“SDフォーマット”ではSDカードのデータは完全には消去されません。SDカードを譲渡する際は、市販のパソコン用データ消去ソフトを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また、廃棄の際は物理的に破壊することをおすすめします。

これらの作業はおお客様の責任において行ってください。万が一、個人データが漏洩した場合、当社は一切の責任を負いかねます。

この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

電源定格および型名・製造番号が本機の底面に記載されています。

- 無線 LAN アダプターを装着してビデオカメラを使用した直後は、無線 LAN アダプターが熱くなっています。やけどやけがを防ぐため、使用直後はしばらく取りはずさないでください。
- コンバージョンレンズを使用するときは、落下などによるけがや故障を防ぐため、お使いのコンバージョンレンズの取扱説明書を見て正しく取り付けてください。また、取り付けたコンバージョンレンズを持って持ち運ばないでください。

著作権について

- 録画・撮影・録音したものの、付属のソフトウェアで編集したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。特に音楽CDをBGMとするムービーを編集する場合は、音楽CDの複製と同様の制限が生じますのでご注意ください。
- 鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づき、以下の用途でのみライセンスされています。

1) 消費者が個人的かつ非営利目的で、MPEG-4 AVC 規格に準拠する動画(以下、AVC Video)を記録する場合

2) AVC Video(消費者が個人的に非営利目的で記録したもの、またはMPEG LA より ライセンスを取得したプロバイダが記録したものを再生する場合

詳細については、MPEG LA, LLCのホームページをご参照ください。
<http://www.mpegla.com>

イラスト・画面表示について

- 本書に描かれているイラスト・画面表示は、わかりやすくするために誇張・省略があります。また、改良のため予告なく変更されることがあります。
- 本機では、フォントワークス株式会社のフォントを使用しています。
- 本機では、M+ FONTS を使用しています。

本機の処分について



Li-ion

本機に内蔵されている充電電池は、リサイクルできます。充電電池の取りはずしはお客様自身では行わないでください。

本機を廃棄するときは、最寄りのサービス窓口にご相談ください。(p. 39)(有償)

液晶画面について

- 表面を強く押ししたり強い衝撃を与えないでください。傷がついたり、割れる場合があります。
- 市販の反射防止フィルムや保護フィルムなどをお使いになれます。ただし、フィルムの厚みなどによっては、タッチパネルがスムーズに動かない場合や、多少画面が暗くなる場合があります。

他社製品の登録商標と商標について

- AVCHD ProgressiveとAVCHD Progressiveロゴは、パナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- HDMI, High-Definition Multimedia Interface, およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。●本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。●Dolby, Dolby Audio, ドルビーとダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。●SDXCロゴはSD-3C LLCの商標です。●Android™は、Google Inc. の商標および登録商標です。●Microsoft, Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。●Mac, QuickTime, iMovie, iPhotoおよびiPhone は、米国およびその他の国で登録された米国Apple, Inc.の商標です。●IntelおよびIntel Coreは、米国Intel Corporationの商標または登録商標です。●フォントワークスの社名、フォントワークス, Fontworks, フォントの名称は、フォントワークス株式会社の商標または登録商標です。●QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。●その他、記載している会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TMマークと®マークを明記していません。

仕様

電源

AC アダプター: DC 5 V

消費電力

4.3 W ([システム]が[4K]、[モニター
バックライト]が[0]の場合)

定格消費電流: 3A

外形寸法(mm)

79 x 76 x 162 (幅×高さ×奥行き:
グリップベルトを含まず)

質量

約 620 g(本体のみ)

動作環境

許容動作温度: -10°C ~ 40°C

許容保存温度: -20°C ~ 50°C

許容充電温度: 10°C ~ 35°C

許容相対湿度: 35% ~ 80%

映像素子

1/2.3 型 1891 万画素
(裏面照射 CMOS)

撮像エリア

665 万~795 万画素(手ぶれ補正:切)

レンズ

F1.8 ~ F2.8

f=3.76 mm ~ 37.6 mm

35 mm カメラ換算:

29.9 mm~299 mm(手ぶれ補正:切)

フィルター径

46 mm(ねじピッチ 0.75 mm)

ズーム

光学ズーム: ~ 10 倍

ダイナミックズーム: ~ 18 倍

デジタルズーム: ~ 200 倍

動画記録方式

4K:

QuickTime ファイルフォーマット

映像: MPEG-4 AVC/H.264

音声: LPCM (2ch)

記録画素数: 3840 画素 x 2160 画素

HD:

AVCHD ファイルフォーマット

映像: MPEG-4 AVC/H.264

音声: Dolby Digital (2ch)

記録画素数: 1920 画素 x 1080 画素

High-Speed:

QuickTime ファイルフォーマット

映像: MPEG-4 AVC/H.264

音声: なし

記録画素数: 1920 画素 x 1080 画素

記録メディア

SDHC/SDXC カード(市販)

内蔵バッテリー

種類:リチウムイオンバッテリー

定格:DC 3.6 V 6400mAh

USB 端子給電出力

定格:DC 5 V 500 mA

防水/防塵/耐衝撃/耐低温性能

防水性能

- JIS 防水保護等級 6 級(JIS IPX6)相当
- JIS 防水保護等級 8 級(JIS IPX8)相当
(最大 5m/1 時間以内の使用に限る)

防塵性能

- JIS 防塵保護等級 5 級(JIS IP5X)相当

耐衝撃性能

- MIL-STD-810F Method 516.5 Shock 準拠
(1.5m の高さから液晶モニター面を内側にして閉じた状態で、3cm 厚の合板へ落下させる社内試験に合格)

耐低温性能

- -10°C ~ 40°C の温度範囲で使用可能
(-10°C ~ 0°C では、一時的に内蔵バッテリーの性能が低下します。)

- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書の内容は 2017 年 11 月現在のものです。内容は予告なく変更することがあります。最新の情報はホームページをご覧ください。
<http://www.3jvckenwood.com/>

準備する

撮影する

再生する

保存する

その他

■ 製品についてお困りのことがありましたら・・・

ホームページ情報

製品に関するQ&A、メールによる問い合わせなどは
ビデオカメラサポート情報
<http://www3.jvckenwood.com/dvmain/support/>

ダウンロードソフト PowerDirectorのご相談

お問い合わせはサイバーリンクカスタマーサポートへ

ナビダイヤル



0570-080-110

一部のIP電話など、ナビダイヤルをご利用になれない場合



03-5205-7670

ホームページ：<https://jp.cyberlink.com/support/index.html>

(受付時間 10:00～13:00、14:00～17:00)
・土、日、祝日、特別休業日を除く
・電話番号および受付時間が変更になる場合があります。

取扱い方法などのご相談

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター
にご相談ください。

アフターサービスのご相談

お買い上げの販売店、またはJVCケンウッド
カスタマーサポートセンターにご相談ください。

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

固定電話からは、フリーダイヤル



0120-2727-87

携帯・PHSからは、ナビダイヤル



0570-010-114

一部のIP電話などフリーダイヤル、ナビダイヤルがご利用になれない場合



045-450-8950

● 電話番号を良くお確かめの上、おかけ間違いのないようご注意ください。

(月曜～金曜 9:30～18:00
土曜 9:30～12:00、13:00～17:30)
・日曜祝日、弊社休業日を除く
・電話番号および受付時間が変更になる場合があります。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

株式会社JVCケンウッドおよびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

保証とアフターサービス

修理を依頼される場合（持込修理）

「困ったときは」(P.30) にしたがって、まずはご確認ください。

ご確認後、なお異常があるときは、電源を切り、必ずACアダプターを取りはずしてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

1. 品名：ビデオカメラ
2. 型名：表紙参照
3. お買い上げ年・月・日
4. 故障の状況
5. ご住所・お名前・電話番号

■ 保証期間中は

保証書の規定にしたがって販売店にて修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

性能部品の保有期間

当社は性能部品を製造打ち切り後、8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

なお、当社の判断で本体の交換や再生部品を使用させていただく場合があります。

次のような場合は保証期間内でも有料修理にさせていただきます。

- (1) 本書のご提示がない場合
- (2) お買い上げ年月日、お買い上げ販売店名が確認できない場合
- (3) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷
- (4) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷
- (5) 火災、地震、風水害、雷その他の天災地変、虫害、塩害、公害ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定以外の使用、電源（電圧・周波数）による故障および損傷
- (6) 不具合の原因が本製品以外（外部要因）による場合
- (7) 一般家庭用以外（例えば業務用等への長時間使用および車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷

サービス窓口

下記URLをご覧ください。

<http://www3.jvckenwood.com/support/hrepair.html>

免責事項

- 本機や付属品、SDカードの万一の不具合により、正常に録画や録音、再生ができない場合、内容の補償についてはご容赦ください。
- 商品の不具合によるものも含め、いったん消失した記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。
- 万一、データが消失してしまった場合でも、当社はその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 品質向上を目的として、交換した不良の記録媒体を解析させていただく場合があります。そのため、返却できないことがあります。

準備する

撮影する

再生する

保存する

その他

ビデオカメラ保証書

持込修理

型名		GZ-RY980		製造番号	
お客様	お名前	ふりがな 様			
	ご住所	□□□-□□□□		電話 () -	
お買い上げ年月日			保証期間	お買い上げ日から	
年	月	日		本体 1年間	
お買い上げ店		住所・店名・電話			

お客様へのお願い

- 本書にお買い上げ年月日、お買い上げ販売店名が押印されていない場合は、購入日の確認出来る書類（シールやレシート等）の添付でもかまいませんので、大切に保管してください。
- 本書をご提示いただく場合は、お手数ですが、お買い上げ商品の製造番号(S/N番号：底面のラベルに印字されています)、お客様のお名前、ご住所の記入をお願い致します。
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

保証の規定につきましては、裏面をご確認ください。

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって（株）JVCケンウッドおよびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

株式会社 JVCケンウッド

〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

